

5. 地方からの便り

「木遣」（はしご乗り）で福山消防出初式を盛り上げる

広島県 福山地区消防組合消防局

2004年の年頭を飾る、恒例の福山消防出初め式が1月11日寒風のなか、福山地区消防組合及び福山市消防団等から参加車両100台、人員1,938人の精鋭部隊が「地域住民の安心と安全」をスローガンに厳粛な中で挙行されました。

公開訓練に先立ち、13,000人の観覧者の前で消防団員が、「木遣」（はしご乗り）を初めて披露。消防部隊の最新鋭の装備での救急・救助訓練や一斉放水は観衆から拍手喝采を浴び、郷土を守る消防への期待は最高潮に達しました。



武蔵誕生の地で消火栓探検ラリー

兵庫県 揖南消防事務組合消防本部



平成15年11月23日、剣聖「宮本武蔵」誕生の地といわれる管内の太子町宮本地区で、クラブ員と家族、総勢110名が参加し、消火栓探検ラリーが行われました。

数名ずつの22チームに班編成。班ごとに渡されたコース図を頼りに消火栓を見つけ出し、そこに貼られた消防クイズも解きながら進んでいきました。

参加者は勝敗を忘れ、消火栓の発見に夢中になりながら、地域の文化や秋の空気を満喫していました。



[▲ このページの上に戻る](#)

第50回文化財防火デー

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部では、1月26日(月)の第50回文化財防火デーに伴い、文化財防火意識の普及啓発を図るため防火診断や消防訓練を実施しました。

防火診断は、1月22日(木)から25日(日)までの4日間、教育委員会、関西電力と合同で管内16対象物の消防用設備等の維持管理状況及び火気使用状況等を点検したものです。



また、消防訓練については、24日(土)10時00分から泉佐野市上之郷45番地、意賀美神社で重要文化財の本殿を対象に、25日(日)9時30分からは、田尻町吉見1101番地の1、登録有形文化財、田尻歴史館において、それぞれ、地元消防団と合同で実施しました。

特に、上之郷の意賀美神社で

は、昔のように、子供たち等が境内に集うことが文化財防火の第一歩と考え、地元の保育園、幼稚園の園児、小学校の児童に呼びかけたところ、多くの子供たちが訓練等に参加いたしました。



泉佐野消防本部・賀本消防長は、「私たちが小さい頃は、神社の境内でよく遊んだものです。その中から文化財の大切さを学んできたような気がします。今日の訓練は、これをイメージしたのですが、子供たちの心の中に文化財愛護の心が芽生えることを期待しています。」と語っていました。

災害に強い町を目指して

熊本県 天草広域連合消防本部



新春を飾る消防出初式が1月2日の河浦町を皮切りに6日まで、天草管内の2市13町で開催されました。

今年は、天候に恵まれたこともあり、堂々の分列行進、通常点検、放水による玉落としなど規律厳正で土気旺盛な出初式が行われました。どの町でも、消防団員に混ざり、幼少年消防クラブの参加が目立ち、住民への防災意識の高揚に一役買い、大人顔負けの分列行進、通常点検や玉落としなどの演技を披露しました。

大矢野町では、天消音楽隊の演奏により消防団員及び町内6小学校の少年消防クラブが行進を行い大観衆の喝采をあげました。

松島町では、愛光園幼年消防クラブ員35名が元気に参加、軽可搬ポンプによる放水玉落としを披露し、観客から「ガンバレちびっこ消防隊」と掛け声が飛んでいました。

姫戸町では、牟田小少年消防クラブ員24名が今年も参加し、見事なはしご乗り演技を披露しました。クラブ員の糸乱れぬ気合の入った演技に感動し、盛んな拍手が起こりました。

龍ヶ崎町でも、大道小少年消防クラブ員が屋内消火栓操法を行い、大道保育所幼年消防クラブ員も和太鼓による演舞を披露し、その後「絶対に火あそびはしません」と防火の誓いを行いました。



消防出初式に参加して

宮口区婦人防火クラブ 隊長 青柳千代美

1月6日恒例行事の本渡市消防出初式に参加するため、私達佐伊津町宮口区婦人防火クラブも12月に入り、通常点検、分列行進の訓練を行いました。今回で8回目となりますが、クラブ長となって2回目の参加になります。



毎年の事ながら、一年一年、年齢は増え体は動かず、訓練をしていても当日は間違いなく出来るのだろうか？大丈夫だろうか？と毎日が不安でたまりませんでした。

中央消防署職員の方々の熱心なご指導とクラブ員全員の努力の結果、当日は自分達でも驚く程の出来映えだったと思っています。若いクラブ員も数名加入し、少しは若返った防火クラブを維持していくため、日々努力していきたいと思っています。また、来年も消防出初式に参加出来る事を願っています。

[▲ このページの上に戻る](#)

平成16年防火の始め 消防出初め式に参加しました！

愛知県 尾張旭市消防本部

愛知県尾張旭市消防本部は、恒例の消防出初め式を1月11日(日)に市内の旭中学校グラウンドにおいて実施しました。参加した機関は、消防署、消防団、自衛消防隊と尾張旭市婦人消防クラブです。

尾張旭市婦人消防クラブは、「一般家庭における防火思想の啓蒙と、火災時における適切な初期消火活動とその知識の習熟を図り、明るい安全な家庭とまちづくりを目的とする。」をスローガンに掲げ、様々な地域・家庭の防火活動を実践してきました。

昭和62年の結成から今年で18年目を迎え6地区、会長以下90名が一丸となって、春秋の火災予防運動の期間中に市内の中学校で朝の「おはよう」の声かけ運動に併せた防火活動や、スーパーの店頭での防火ちらしの配布をするなどして、火災予防に努めてきました。

消防出初め式では、入場行進のあとグラウンドに整列し、市長の視閲を受け、特別演技「小隊各個訓練」をクラブ員全員で披露しました。



そして、最後に軽可搬ポンプ 6 台を駆使した放水訓練を行い市民にアピールしました。

また、わたしたち尾張旭市婦人消防クラブは、昨年(木)の11月20日(木)に天皇・皇后両陛下をはじめ小泉首相ほかが列席され、盛大に開かれました東京ドームでの「自治体消防55周年記念大会」において表彰並びに記念品を授与されるという大変な名誉にあずかりました。これを機になお一層消防活動に邁進しようと誓うとともに、わたしたちクラブ員は、皆でこの喜びを記念して写真を撮りました。



[\(画像をクリックすると拡大表示されます\)](#)

[▲ このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 全国消防防災主管課長会議について](#)
- [2. 平成15年\(1月～9月\)における火災の概要\(抜粋\)](#)
- [3. 平成15年度 民間防火組織の状況](#)
- [4. 道府県婦人防火クラブ連絡協議会 会長だより](#)
5. 地方からの便り
- [6. あなたも危険物取扱者・消防設備士に](#)